**UNIT 19**

１ It’s sometimes said / that human beings live two lives, / one before the age of five / and another one after, / and this idea probably stems / from the enormous amount of time / which those first five years of our lives contain. // It’s possible that we experience / as much time / during those years / as we do during the seventy or more years which come after them. //

言われることがある　　　　　　　 人間は２つの人生を生きると　　　　　　　　　　　　　　 ５歳までと

その後の　　　　　　　　　　　　　　　そして，この考えはおそらく由来するのだろう 膨大な時間に

私たちの人生の最初の５年に含まれる 私たちは経験するということがありうる 同じくらい長い時間を その年月の間に 私たちがその後に来る70年かそれ以上の年月に（経験）するのと

～ようだ　　　　　　私たちの人生の最初の数か月の間　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　私たちは時間を一切経験しない

　　　　　　　　　　　心理学者のジャン・ピアジェの研究によると　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　私たちの人生の最初の数か月の間　　　　　　　　　　　　　　　　 私たちは「空間のない」状態で生きている　　　　　　　　　　　　　異なる物体どうしの区別をつけられず　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　あるいは物体と自分たち自身の（区別をつけられず）　　　　　　私たちは世界といっしょに溶け合っている　　　　　　　　　　　　　そして私たちは自分たちがどこまでで，それ［世界］がどこからかわからない

　　　　　　　　　　私たちは時間のない状態をも経験する　　　　　　　　　　　　　　　　　　　～ので　　　　　　私たちが物体どうしの区別をつけられないのと同じように　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　私たちはある瞬間とその次の瞬間を区別できない　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　私たちは，ある出来事がいつ始まるかがわからない　　　　　　　　あるいはいつそれが終わるかが（わからない）

私たちはこの時間のない領域からやっと抜け出し始める　　　　　　　　　　　　　　　　　　私たちの分離の感覚が発達し始めるにつれて

　　　　　　　　　　　　　　　　ピアジェによると　　　　　　　　　　これは７か月頃に始まる

私たちは自分たち自身を別の存在として気づき始める　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　世界と離れた

　　　　　　　そしてまた異なる物体どうしを隔てるものも知覚し（始める）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　これに加えて　　　　　　　　　私たちは異なる出来事を隔てるものにも気づき始める　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　私たちは連続した時間の感覚を発達させる　　　　　　　　　　　　　　　つまり過去と未来の感覚を　　　　　　　　　　　　　言語の発達に促されて

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　過去，現在，および未来時制を持つ

ピアジェによると　　　　　　　　　　この過程は４つの段階をたどる　　　　　　　　　　　　　第一に　　　私たちは人々がやってきて出来事が始まるということを認識する　　　　　　　　　　　　　第二に　　　　　私たちは人々が去って出来事が終わることを認識する

　　　　　　　　　　　第三に　　　　私たちは人々や物体は動くときに距離を進むということを認識する

　　　　　　　　　　第四に　　　　私たちは距離を測定できるようになる　　　　　　　　　　　　　　　　　別々の動いている物体や人々の間の　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　つまりこの時点で　　　　　　　私たちは連続する時間の感覚を発達させている

２ It seems / that during the first months of our lives / we don’t experience any time at all. // According to the research of the psychologist Jean Piaget, / during the first months of our lives / we live in a state of ‘spacelessness,’ / unable to distinguish between different objects / or between objects and ourselves. // We are fused together with the world, / and we don’t know where we end and where it begins. // We also experience a state of timelessness, / since / ―― in the same way that we can’t distinguish between objects ―― / we can’t distinguish one moment from the next. // We don’t know when an event begins / or when it ends. //

３ We only begin to emerge from this timeless realm / as our sense of separation begins to develop. // According to Piaget, / this begins at around seven months. // We start to become aware of ourselves as separate entities, / apart from the world, / and also to perceive the separation between different objects. // Along with this, / we begin to be aware of separation between different events. // We develop a sense of sequential time, / a sense of the past and future, / encouraged by the development of language, / with its past, present, and future tenses. // According to Piaget, / this process follows four stages. // First, / we recognise that people arrive and events begin; / second, / we recognise that people leave and events end; / third, / we recognise that people or objects cover distances when they move; / fourth, / we become able to measure the distance / between different moving objects or people / ―― and at this point / we have developed a sense of sequential time. //

４ After this point of ‘falling’ into time, / we become more and more subject to it. // If the sense of sequence is the result / of our development of a separate sense of self, / we can probably assume / that the more developed our sense of self becomes, / the more developed the sense of sequence will be. // As a result, / time will seem to move faster. // This sense of time speeding up / isn’t something that we just experience as adults; / it probably happens / from early childhood onwards. // Time may pass for a two-year-old child, / but probably only at an incredibly slow speed. // But as the child’s sense of self becomes more developed, / the speed of time increases, too. // Time probably moves faster to a child of four / than it does to a child of three, / and faster to a child of seven / than it does to a child of six. //

この時間に「入り込む」ようになった時点から　　　　　　　　　　私たちはますますそれ［時間］に従属するようになる

もし連続の感覚が結果であるなら　　　　　　　　　　　　　　　　私たちの独立した自意識の発達の

　　　　　　私たちはおそらく想定できるだろう　　　　　　　自意識が発達すればするほど

　　　　　　　　　連続の感覚も発達する（と）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 結果として 時間はより速く動くように感じられるだろう この時間が加速する感覚は 私たちが大人のときにのみ経験するものではない それはおそらく起こるのだろう　　　　　　幼児期以降に

　　　　　　　　　　時間は２歳の子供にとって過ぎ去ってゆくかもしれない　　　　　　　　　　しかし，おそらく信じられないほど遅い速さでのみだろう　　　　　　　　　　　　　　しかし，子供の自意識が発達するにつれ

　時間の速さも増す　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　おそらく時間は４歳児にとって速く過ぎるだろう

　３歳児にとってよりも　　　　　　　　　　　　　　　　そして７歳児にとって速く過ぎる（だろう）　　　　　６歳児にとってよりも

しかしながら　　　 この年齢でも　　　　　　　　 時間は何倍もゆっくりと過ぎる　　　　　　　　　　　　　　　　　大人にとってよりも

　　　　　　　　　　　こういう理由で　　　　どんな親でも知っているように　　　　　幼い子供たちはいつも思っている

実際よりも多くの時間が経ったと　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 そしてしばしば不平を言う 物事に時間がかかり過ぎると 小学校の先生はこのことに心を配るべきである 自分の生徒たちの注意がそれ始めるときに 彼ら［先生たち］にとってかなり短い40分の授業と思われるものは 何倍も長く引き伸ばされているのである 子供たちにとっては

幼い子供たちの時間感覚は まだ完全には発達していない　　　　　　　　　他の点においても

彼らは正確に推測することができない　　　　　　　　　出来事がどのくらい長く続くかを　　　　　　　　実際には　　　　彼らはようやくこれを行うことができるようになる　　　　　秒単位で　　　　　　　　　　　　　 ６，７歳で　　　　　　　　　　　　　　　　　　　彼らにははっきりした感覚もない　　　　　　　　　　過去の一連の出来事の　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ２～４歳の間の子供たちが自分たちがやったことについて話すとき あるいは自分たちに起こったことの話を再度話すとき 彼らはほとんど常に出来事の順序を混同する

　　　　　　　　　　　　　　　　　　たいていそれら［出来事］をグループ分けし　　　　　　　 つながりの観点から

順序というよりもむしろ

５ However, / even at this age / time passes many times more slowly / than it does for adults. // This is why, / as any parent knows, / young children always think / that more time has gone by than actually has, / and often complain / that things are taking too long. // Primary-school teachers should be mindful of this / when their pupils’ attention starts to wander / ―― what seems to be a fairly short 40-minute lesson to them / is stretched many times longer / to the children. //

６ Young children’s sense of time / is not yet fully developed / in other ways, too. // They can’t accurately guess / how long events last / ―― in fact, / they only become able to do this / in terms of seconds / at the age of six or seven. // They don’t have a clear sense / of the sequence of past events, either. // When children between the age of two and four talk about what they have done, / or retell the story of something that’s happened to them, / they almost always mix up the order of the events, / usually grouping them together / in terms of association / rather than sequence. //